



仮設住宅で懇談。

富岡町は2016 (H28) 年3月までは帰らないと宣言しています。復興住宅の建設の遅れに加え、部屋の広さや高額家賃、保証人の問題、立地条件など、高齢者やひとり暮らしが多い中で課題が噴出。結局現場を見ず、「上」からの押し付け復興になっていることがよくわかります。ここでも「補償」「引越先」などで住民同士がバラバラにさ

時間の経過と共に、高齢化が進み、問題が複雑化。個人で解決できなくなっています。飛散し続ける放射能と汚染水の垂れ流しなど先の見えな不安・憤りが一番多く聴こえてきます。自己責任にされないように連帯し、「権力者」のされるがままにならないよう、私達も意識的につながっていかねければと強く感じました。

「フラガール」に感動

描いた「がんばっぺフラガール」労しているのに、何が原発再ル」のDVDをバスの中で視聴。稼働じゃ!!」と怒りと憤りの町興しや復興が地元住民の声が多く大きいことにはうな実態や声、願いを大切にせずけます。

ことこそ基本にすれば困難 「忘れないでほしい」このも乗り越えられることがと言葉に尽きます。見て聴いてもよくわかりました。(実 きたことをしっかりと周りの行委員の皆さんの思いがし 人にお伝えして、「原発再稼働」つかりと伝わり、感謝の気持ち 許さない!」世論をもっともちでいっばいです。)

「東京オリンピックに反れそれぞれの地へ熱い思いを持つ対じゃないよ。けど、その準て帰りました。

「原発ゼロをめざして」そ

大きなつねりになっている・・・

自分でしっかり考えて行くよ！
戦争に行かされるのは僕らだから
汚い政治と金はもうまっぴら！

この1票に託さないかね！
ブラック企業はもうゴメン！
学校でたらローン地獄なんて最悪

なぜ?! 知ったこと
考えたこと 見えてきたこと
ひとりひとりが動きはじめた
主権者として・・・
希望と未来が歩いていく
笑顔と一緒に胸をはって (^-^)*

～川西市の投票結果～

比例代表	自由民主党	20440
(票)	維新の会	16368
	民主党	10165
	公明党	7934
	日本共産党	7837
	次世代の党	2433
	社会民主党	1538
	生活の党	773
	幸福実現党	228

☆兵庫☆堀内照文さん比例で当選!

小選挙区	吉岡けんじ	9860
(票)	つじ奏弘	18611
	すぎた水脈	6460
	大串まさき	31411

何が原発再稼働じゃ! 憤りに大ききくうなづく

私(黒田)は、先月号でもお伝えしたように、11月13日から3日間、東日本大震災救援バザー実行委員会主催(日本共産党兵庫県委員会)の福島ボランティア活動に参加。郡山市の仮設住宅を訪問、支援物資の配布と炊き出し、現状などを聴かせていただく懇談会などに参加しました。(ブログたんぼぼだより・フェイスブックに掲載中)

高齢化、複雑化 課題噴出

れている事例が多く出されま

2日目の宿泊は、映画「フラガール(06年)」で有名な人間はそちばっかりになった「スパリゾット・ハワくんじゃないか?! 誰も放射能汚染地に好き好んで来ない言われる「常盤音楽舞踊学 だろ?」と何人の方が話院」卒業生の素晴らしい踊りされました。「最前線の原発労働者は、酷い労働環境で働か学しました。給料も含め

国のエネルギー政策転換 して・・・と。

山に追い込まれていく歴史 大きな税金が流れていくが、「真実のフラガール」、東日 末端は負担と被害ばかりが押本大震災で大きな被害を受し付けられている矛盾・・・

最後「わしらがこんな苦

ご意見・ご要望 お気軽にお聞かせください。

共産党躍進と「オール沖縄」完勝

選挙で示された二つの民意

14日に開票された総選挙の結果を受けて、メディア各紙はいっせいに、自公が合わせて3分の2超の議席を占めたことに「自公大勝」「自公圧勝」と報じました。

しかし、「自民党単独で3分の2超」などと言われた「事前報道」は現実化せず、結局自民党は4議席減に終わりました。

民主、維新両党をはじめ野党が全体として伸び悩む中、安倍政権に真正面から対決してきた日本共産党が得票と議席（8議席）を大きく伸ばしました。ここに総選挙結果の最大の特徴があります。

日本共産党は前回総選挙に比べ、23万7千票を増やし、躍進した昨年参院選の得票に對してもさらに90万票増やしました。そこに示された民意とは何か。

日本共産党がこの選挙で訴えたのは、安倍暴走政治に対する正面からの対決と、税制、景気、外交・平和、原発、基地問題での「五つの転換」の対案、そして国民と広く共同して進める政治変革の展望です。二大政党「第三極」の崩壊と政党・政治家の離合集散という混乱した状況で、政党選択を模索する有権者が日本共産党への支持

によって示したものは、まさに安倍自民党政治の転換です。

同時に、「圧勝」といわれる自民党が、沖縄ではすべての小選挙区で敗北しました。沖縄の4選挙区すべてで日本共産党を含む新基地建設反対の「オール沖縄」の共同候補が当選しました。

11月の沖縄県知事選に続く明確な県民の審判です。

日本共産党の躍進と沖縄が突きつけた民意を無視し、安倍政権が「白紙委任」をつけたかのごとく再び暴走を強めるなら、政権はさらに厳しい国民の批判で、重大な政治状況に追い込まれることは避けられません。

安倍晋三首相は15日の会見で「私たちが数におごり、謙虚さを忘れたら国民の支持は一瞬にして失われる」などと述べ、「謙虚」な姿勢をアピールしました。他方、選挙中には集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」について自ら語ろうとせず、中身についてもすりかえ、ごまかしを続けてきたのに、「街頭演説でも、テレビ討論でも訴えてきた」と強弁。安全保障法制の整備について「約束したことを実行していく」などと述べました。

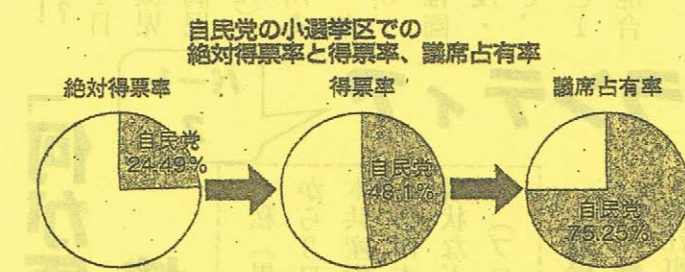
民意を無視して進む安倍暴走「第二幕」に對し、日本共産党と国民共同の新たなたたかいの幕が上がります。

「自公圧勝」とはいえない

得票数・率とも減

総選挙では、安倍政権の暴走と激しく対峙した自民党が得票と議席を減らした。一方、自民、公明の与党の獲得議席は定数の3分の2（317議席）超。「自公大勝」「朝日」などの報道も見られますが、民意の実際をみると、

民意をものごとくひっくり返す比例代表選挙での減り、得票率は48.1%にとどまりましたが、



議席占有率は75.25%にもなりませんでした。民意が政党本位にゆがめられてしまった結果です。

実際、全有権者の中で得票割合を示す絶対得票率でみれば、自民は比例代表選挙で16.99%、小選挙区で24.49%しかありません。

だから、自民党自身も「今回の選挙は向かい風でも追い風でもない」（谷垣禎一幹事長）と有権者の冷めた視線を自認しています。安倍首相は総選挙の「道のしなご」



党派	2014年12月14日投票			小選挙区	比例代表
	新議席	公示前	前回		
日本共産党	21	8	8	1	20
自民党	291	295	294	223	68
民主党	73	62	57	38	35
維新の党	41	42	54	11	30
新明党	35	31	31	9	26
次世代の党	2	19	—	2	0
生活の党	2	5	—	2	0
社民党	2	2	2	1	1
新党改革	0	0	0	0	0
その他・無所属	8	15	34	8	0
合計	475	479	480	295	180

■党派別得票数・率の推移 注：比例代表、小選挙区とも得票数の案分による小数点以下を切り捨て。維新の党は、過去の日本維新の会と比較した。諸派・無所属および今回立候補のなかった党派は省略。

2014年衆院選	今回比例		13年参院比例		12年衆院比例		今回小選挙区		12年小選挙区	
	得票数	率	得票数	率	得票数	率	得票数	率	得票数	率
日本共産党	6,062,962	11.4	5,154,055	9.7	3,689,159	6.1	7,040,146	13.3	4,700,289	7.9
自民党	17,658,916	33.1	18,460,335	34.7	16,624,457	27.6	25,461,454	48.1	25,643,309	43.0
民主党	9,775,991	18.3	7,134,215	13.4	9,628,653	16.0	11,916,835	22.5	13,598,773	22.8
維新の党	8,382,699	15.7	6,355,299	11.9	12,262,228	20.4	4,319,645	8.2	6,942,353	11.7
公明党	7,314,236	13.7	7,568,082	14.2	7,116,474	11.8	765,390	1.4	885,881	1.5
次世代の党	1,414,919	2.7	—	—	—	—	947,390	1.8	—	—
生活の党	1,028,721	1.9	943,836	1.8	—	—	514,575	1.0	—	—
社民党	1,314,441	2.5	1,255,235	2.4	1,420,790	2.4	419,347	0.8	451,762	0.8
新党改革	16,597	0.0	—	—	134,781	0.2	—	—	—	—

潮流

投票から一夜明けた朝の宣伝。足早に駅に向かう人たちが、笑顔で声をかけてくれます。「よかったね」「すごく伸びましたね」。初老の男性が近づき、「今度の選挙で勝ったのは与党ではない。勝者は共産党だ」メディアが「自公圧勝」を伝える

なか、いちはん議席も得票数も増やしたのは、安倍政治と最も対決してきた日本共産党でした。自民が議席を減らす一方、共産党は13増やして議案提案権を獲得。昨年の参院選に比べても、自民が80万票減らしたのに対し、共産党は90万票余の増です。選挙制度の弊害も表れました。小選挙区で自民は5割に満たない得票で4分の3の議席を独占。

戦後最低の投票率になったのも、自分たちの思いが政治に反映しない、いら立ちが背景にあるのでしょうか。いくら国会で虚構の多数をとっても、外に出れば国民の多くは安倍政治に不安や不満を感じています。沖縄では、政権が強行する辺野古への米軍新基地に反対する候補者が全員勝利。自民議席ゼロの圧倒的な民意を突きつけました。躍進をうけ、本部に寄せられた期待も熱い。「生活を少しでも豊かにしてほしい。将来、子どもたちが幸せにくらげられるよう、共産党にどうか、がんばって変えていただきたい」「安倍の暴走を止めたい」という、国民の声にこたえてほしい。早く退陣に追い込んで「日本共産党の一つ一つの議席は、国民の声を国会に届ける懸け橋です。太く、大きくなった絆。それを生かし、安倍政治とのたたかいをさらに前へ。」

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 3497円
月刊 823円

お申し込みは 黒田みちまで